

平成24事業年度

決算報告書

国立大学法人佐賀大学

平成24年度 決算報告書

国立大学法人佐賀大学

(単位：百万円)

区分	予算額	決算額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	11,379	8,953	△2,426	(注1)
施設整備費補助金	1,861	1,583	△278	(注2)
船舶建造費補助金	—	—	—	
補助金等収入	—	376	376	(注3)
国立大学財務・経営センター —施設費交付金	52	52	—	
自己収入	20,378	21,370	992	
授業料、入学料及び検定 料収入	4,596	4,334	△262	(注4)
附属病院収入	15,630	16,862	1,232	(注5)
財産処分収入	8	—	△8	(注6)
雑収入	144	174	30	(注7)
産学連携等研究収入及び寄 附金収入等	1,471	1,990	519	(注8)
引当金取崩	100	88	△12	(注9)
長期借入金	4,369	1,941	△2,428	(注10)
貸付回収金	—	—	—	
承継剰余金	—	—	—	
旧法人承継積立金	—	—	—	
目的積立金取崩	311	236	△75	(注11)
計	39,921	36,589	△3,332	
支出				
業務費	31,349	29,030	△2,319	(注12)
教育研究経費	14,161	12,624	△1,537	
診療経費	17,188	16,406	△782	
施設整備費	6,282	3,577	△2,705	(注13)
船舶建造費	—	—	—	
補助金等	—	395	395	(注14)
産学連携等研究経費及び寄 附金事業費等	1,471	1,484	13	(注15)
貸付金	—	—	—	
長期借入金償還金	819	801	△18	(注16)
国立大学財務・経営センター —施設費納付金	—	—	—	
計	39,921	35,287	△4,634	
収入－支出	—	1,302	1,302	

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、業務達成基準を適用した事業の繰越及び給与改定臨時特例法に基づく国家公務員の給与削減と同等の給与削減相当額の影響により、予算額に比して決算額が2,426百万円少額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、主として(医病)病棟・診療棟の事業が翌年度に繰越になったため、予算額に比して決算額が278百万円少額となっています。
- (注3) 補助金等収入については、予算段階では予定していなかった補助金の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が376百万円多額となっています。
- (注4) 授業料、入学料及び検定料収入については、授業料の徴収対象となる在学者数が減少したこと等の理由により、予算額に比して決算額が262百万円少額となっています。
- (注5) 附属病院収入については、患者数及び手術件数の増加等により、予算額に比して決算額が1,232百万円多額となっています。
- (注6) 財産処分収入については、売却予定の土地が売却できなかったため、予算額に比して決算額が8百万円少額となっています。
- (注7) 雑収入については、特許権等の実施料及び受取利息・有価証券利息の増収により予算額に比して決算額が30百万円多額となっています。
- (注8) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、主として寄附金等の獲得に努めたことから予算額に比して決算額が519百万円多額となっています。
- (注9) 引当金取崩については、任用計画の見直しにより、引当計上目的に従って当年度に使用した額が減少したため、予算額に比して決算額が12百万円少額となっています。
- (注10) 長期借入金については、(医病)病棟・診療棟の事業が翌年度に繰越になったことに伴い、借入時期を変更したため、予算額に比して決算額が2,428百万円少額となっています。
- (注11) 目的積立金取崩については、一部計画の見直しを行ったため、予算額に比して決算額が75百万円少額となっています。
- (注12) 業務費については、業務達成基準を適用した事業の繰越及び給与改定臨時特例法に基づく国家公務員の給与削減と同等の給与削減相当額の影響、さらに業務実施にあたり経費節減に努めたことにより、予算額に比して決算額が2,319百万円少額となっています。
- (注13) (注2)及び(注10)に示した理由等により、予算額に比して決算額が2,705百万円少額となっています。
- (注14) (注3)に示した理由等により、予算額に比して決算額が395百万円多額となっています。
- (注15) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、執行計画を見直したことにより、予算額に比して決算額が13百万円多額となっています。なお、前年度からの繰越額による使用額は691百万円となっています。
- (注16) (注10)に示した理由等により、予算額に比して決算額が18百万円少額となっています。